

Hero's smile

みなさん、2011年3月11日は何が起こった日なのか知っていますか？

塾生のほとんどの人は生まれていないまたは生まれたばかりかもしれませんが、日本人として知っておかなければならない大地震そして大津波による大災害が起きてしまった日でしたね。（東日本大震災）

今月号はそのことについて書きたいと思います。5月28・29日に岩手県と宮城県に行く機会があり、私はどうしても震災遺構を見ておきたいと思い、震災遺構仙台市立荒浜小学校と荒浜地区住宅基礎（大津波で流されてしまった住宅の残された基礎コンクリート）を見てきました。当時のニュースを思い出してみると各テレビ局のアナウンサーが何度も何度も仙台市若林区荒浜地区と言っていたことを思い出します。ニュースでは見たり聞いたりはしていましたが、実際に行ってみるとその津波の被害は想像を超えるものでした。小学校の校舎2階にまで大津波は達したとのことでした。（写真参照）当時の荒浜小学校の校長先生は今、その時のことをみんなに伝えようと震災を伝えるボランティアをなさっており、お会いすることができました。そして、大津波当日の様子もうかがうことができました。荒浜小学校は、海から約700mとすごく近かったため、日頃から地震や津波に対しての避難訓練を近くの住民の人たちと共に行っていたそうです。日頃の訓練では校庭に全員が集まり、その後が一番新しい頑丈な建物の体育館に避難するという訓練だったそうです。校長先生は、大地震直後2階から海の様子を確認され、ただ事ではない海の状態を感じ、避難訓練で実施していた避難場所を体育館から校舎屋上に突然変更したそうです。校長先生の決断で全員が屋上に避難したことによって先生方、住人のみなさん、そして小学生の合計320人がヘリコプターでの救助活動のおかげで助かったそうです。（しかし、ここで校長先生の『屋上への避難場所変更』の決断がなかったら……。先日お会いすることさえできなかったかもしれません。日頃からの訓練の大切さ、そして状況に応じた決断を瞬時に下せることなど、迫りくる大津波の前にしてとっさに多数の方の命を守る選択ができることがすごいことだったと感じました。）

塾生のみんなも今後時間を作って、是非自分の目で東日本大震災当時の状況を見てほしいと思います。



まだ関東は梅雨入りしていませんが、どんよりとした日が続いています。そんな時は、自分なりの小さな楽しみを見つけて、少しでも晴れやかな気持ちで過ごせると、次の日の朝が気持ちよく迎えられそうですね。

6月中旬から「期末テスト」が始まります。一学期のまとめをしっかりと行い、テストに臨みましょう。テストで勉強の成果を発揮することはもちろんですが、自分の苦手なところを把握することが最も大切です。最後の最後まで諦めずに、対策を練りましょう。



～6月15日「父の日」～

「いつも家族のためにありがとう」の一言を伝えよう



月	火	水	木	金	土	日
2 休 校	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 明和中期末開始	19 太田東期末開始	20	21	22
23	24 館高・西邑楽期末開始	25 多中期末開始	26 館女期末開始	27	28	29
30 館1・3中期末開始						

～お知らせ～

*6/11～ 中3生から順に三者面談を実施いたします。(小学生を除く)

面談表は後日配布いたします。

『挨拶・返事は元気よく』

- ←写真 左) 校舎南側2階まで津波が襲ったようす
- ←写真 中) 校舎東側2階に津波が当たり鉄柵が曲がったようす
- ←写真 右) 校舎1階のようす

